

令和２年度 第１回関市立図書館協議会 会議録

日時 令和２年７月３０日（木曜日）午後１時３０分～

場所 わかくさ・プラザ学習情報館２－１研修室

◆出席者

（図書館協議会委員）

樋口 緑、波多野壽美、平川貴久、藤根 隆、河合裕子、太田尚文、藤井和敏

熊崎好子 以上８名

※欠席者 船戸真由美

（事務局）

島田美佳生涯学習課長、深川理代

（図書館）

塚原隆文館長、亀山並枝館長補佐

◆傍聴者 なし

◇開会

◇会長あいさつ

コロナの影響で３月の会議が書面開催となり、委員の皆様と直接顔を合わせるのは今年の１月２月以来となりました。様々な場面で感染予防に気を遣う日々続き、委員の皆様もそれぞれのご立場でいろいろなご苦勞をされていると思います。特に、大勢の方が利用される図書館運営に関しましては知恵をしばって大変な努力をされていることと思います。日本図書館協会から感染予防に関するガイドラインがだされていますが、その中には人数制限など細かな対応について書かれていますし、また来館しなくてもできるサービスの提供を模索するような事も書かれています。関市図書館については以前から電子図書館が導入されており、それがこのような状況のなかで非常に有効に活用されたのではないかと想像しています。このような図書館運営の努力されている部分をこの協議会で後押しするため、様々な取組みについて建設的な意見を出しながら、皆さんで協議していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

◇図書館長あいさつ

昨年度は指定管理者の更新という図書館にとって非常に大切な年でありましたが、令和２年

度から令和6年度まで引き続き岐阜済美学院が指定管理者として図書館運営を行うこととなりました。今年になりましてからコロナへの対応というところでいろいろ苦慮しておりますが、生涯学習課と情報を密にしながら運営しているところです。本日はコロナ対策についても説明させていただきますので、またご指導いただけると大変ありがたいと思っております。

◇生涯学習課長あいさつ

本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。昨年の会議の際に、老舗の本屋が無くなって若者の読書離れが進んでしまうというような話をしたことを覚えています。その時には未来は変わらず続いていくものと思っておりました。しかしこのコロナというものが当たり前だと思っていたことが、決して当たり前ではなかったという事を再認識するきっかけとなったと思っております。図書館につきましては、今だからこそ出来る事ということで、展示の見直しなどをおこなったり、また早い段階で図書館を利用できる環境を整えていただきました。電子図書館についても通常よりも多くの利用があったということをお聞きしています。本日のメイン議題は図書館改修となります。昨年度、利用者からの意見をまとめた資料をご覧いただきましたが、それをもとに改修案をまとめさせていただきました。皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

◇議題

- ・樋口会長による議事進行

①図書館改修計画（案）について

- ・事務局より資料に基づいて説明

◇質疑応答

【委員】 コロナの対応で人数制限はされていますか。

【館長】 座席数は制限していますが、館内の人数制限はしていません。

【委員】 エリア分けについて、仕切りなどで物理的な区切りをするのでしょうか。

【事務局】 物理的に全てを仕切るというのは、動線の問題もありますので現在想定はしていません。ただ、サインですとか床の色を分けるなど、視覚的に分かりやすいように表示をしてエリアを分けていきたいと思っております。

【委員】 親子など声が出てしまう方と、静かにしてほしい方の住みわけがうまくいくとよいと思います。

【課長】 子どもの声が気になる方はみえますし、親御さんのほうも子どもの声を気にしていらっしゃると思います。高知の図書館を視察に行った際、静寂ルームを作ることで声が気にな

る方はそちらへ案内できるということをお聞きして、今回の案に入れさせていただいています。

【委員】座席の数はどうなりますか。

【事務局】概算になりますが、現在は閲覧席、学習席それぞれ50席程度あります。改修後は、閲覧席が60席、学習席が150席ほどの計画となります。また、図書館の中だけでなく学習情報館全体で座席の確保を考えております。

【委員】多目的ホールの利用の仕方や運用はどのようにしていくのでしょうか。もう一つは、利用者のニーズがどんどん広がる中でどこまで応えるかが難しいと思います。

【事務局】利用スケジュールの掲載方法や予約制にするかなどの運用方法は、今後検討していく課題です。ただ、多目的ホールは基本的には図書館に関するイベントを行ったり、学習スペースとして運用することを想定していますので、団体の方の活動の場として開放することは考えていません。ニーズに応えるということに関しては、図書館を新築するということはできませんので、現在ある資源を生かしながら、皆さんのニーズに最大限配慮した改修となるように進めていきますが、利用者の方にもある程度許容していただく部分も出てくると思います。

【委員】図書館は静かにするところだというのは理解していても、親子連れの方はなかなか静かにできないという事で利用にとっても気をつかっていらっしゃるという声を聞きます。そういうところが、ゾーンを分けることで使いやすくなるのではないかと期待しています。

【委員】以前に庭が非常にもったいないという話がでていましたが、その部分を室内にするという事で増床の要望に応えるものとなっていると思います。また、ゾーン分けについてもきっちり分けることは難しいにしても、ある程度自分の目的に応じた場所が図書館の中で選択できるのは良いことだと思います。

①図書館運営状況について

- ・図書館長より資料に基づいて説明

◇質疑応答

【委員】銀行などは、コロナの対応で雑誌や新聞が撤去されてりしていますが、図書館ではどうですか。

【館長】入り口で必ず消毒をしてもらった手で触る事と、雑誌にはビニールカバーがかけてあるのでそれを消毒するという対応をしています。

◇閉会（生涯学習課長あいさつ）

コロナに対する新しい生活様式の中で、図書館の対応についてご理解いただけたかと思います。先行きが不透明な中で、対応についてなにかお気づきの点がございましたらなんでもお申し付けいただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。